

上田朝直建立青石塔婆 東松山市

妙見寺













埼玉県指定史跡の上田朝直建立青石塔婆の覆屋



上田朝直建立青石塔婆





上田朝直は東松山市に所在した「松山城」の城主だったとのこと



標柱には「史蹟上田朝直建立青石塔婆」とある



「昭和十二年三月三十一日指定」とある





県指定文化財 史跡

上田朝直建立青石塔婆

(昭和十二年三月三十一日指定)

青石(板石)塔婆は、鎌倉時代から戦国時代にかけて、死者の追善供養や死後の極楽往生を願って造立されたもので、小川町下里や秩父郡長瀨町で採れる緑泥片岩を使用した武蔵型板石塔婆と呼ばれる塔婆が盛んに作られています。

この板石塔婆は、下部中央にある「真読一千部善願成就之銘文」から、法華經一千部(回)を唱えたのを記念して、松山城主の上田朝直が元龜二年(一五七二)八月に建てたことが記されています。



願以比功德 普及於一切 施主上田(能登守源朝臣朝直人道案独斎桑門宗潤) [生年]

南無妙法蓮華經 真読一千部善願成就之銘文 [七八]

我等与衆生 皆共成仏道 于時元龜二年大歳 八月時正中日起立之

〔一〕内は、摩擦が進み判読困難のため、参考として「新編武蔵国風土記稿」により補っています

「南無妙法蓮華經」と日蓮宗の本尊である題目を大きく刻み、左右に法華經から引用した「願わくば此の功德を以て、普く一切に及ぼし、我らと衆生と皆共に仏道を成ぜん」とあります。これは、死者の冥福を祈る際の回向文(自分の功德をもって他の人にも良い影響をあたえること)として用いられているものです。

上田氏は熱心な日蓮宗の信者で、菩提寺である東秩父村御堂の浄蓮寺にも同様な板石塔婆があります。

文化財を大切にしましょう

平成二十年三月

東松山市教育委員会



参考ホームページ

<http://www.knet.ne.jp/~ats/t/hist/s3/ueda.htm>

<http://tikugo.exblog.jp/i13>

http://www.city.higashimatsuyama.lg.jp/m/yorimiti/yorimiti/h19/yorimiti_03.htm



